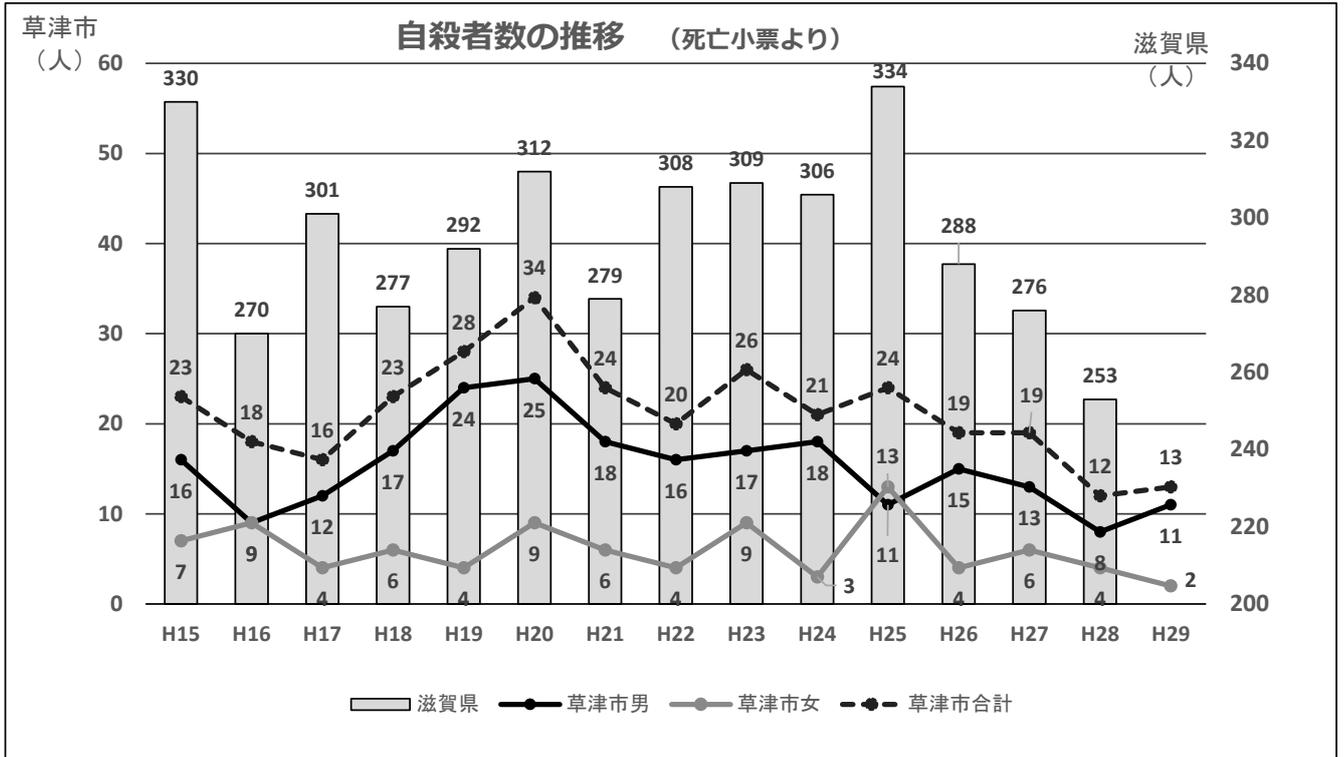
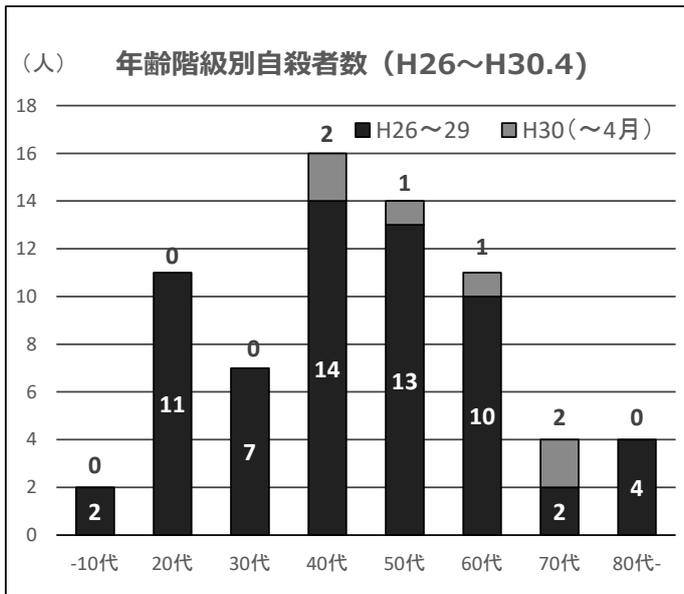


草津市の自殺の状況



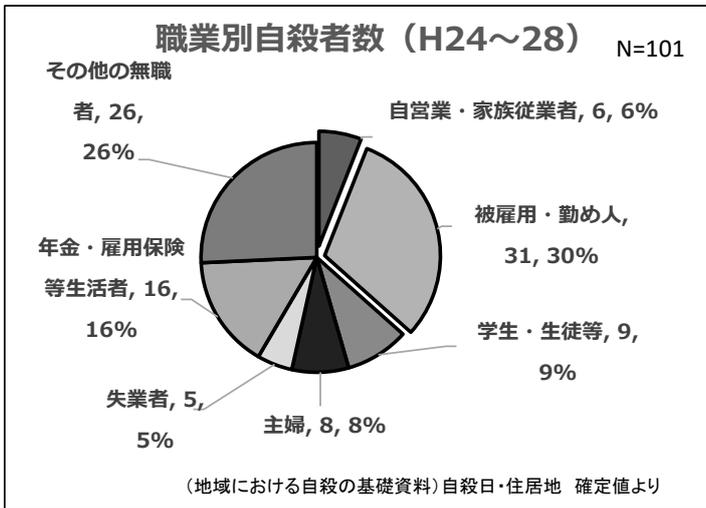
・草津市の自殺者数は平成27年までは20人前後でしたが、平成28年には12人、平成29年には13人という現状であり、全体として減少の方向に向かっています。



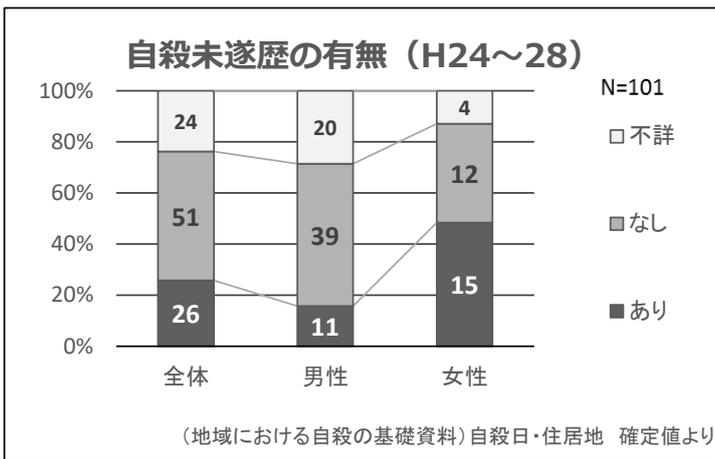
・年齢階級別自殺者数は、40歳代50歳代、次いで、20歳代、60歳代が多い状況です。

・プロフィールによると男性については、働き盛りとされる年代がリスクとして高く、女性については高齢の方のリスクが高いとされています。

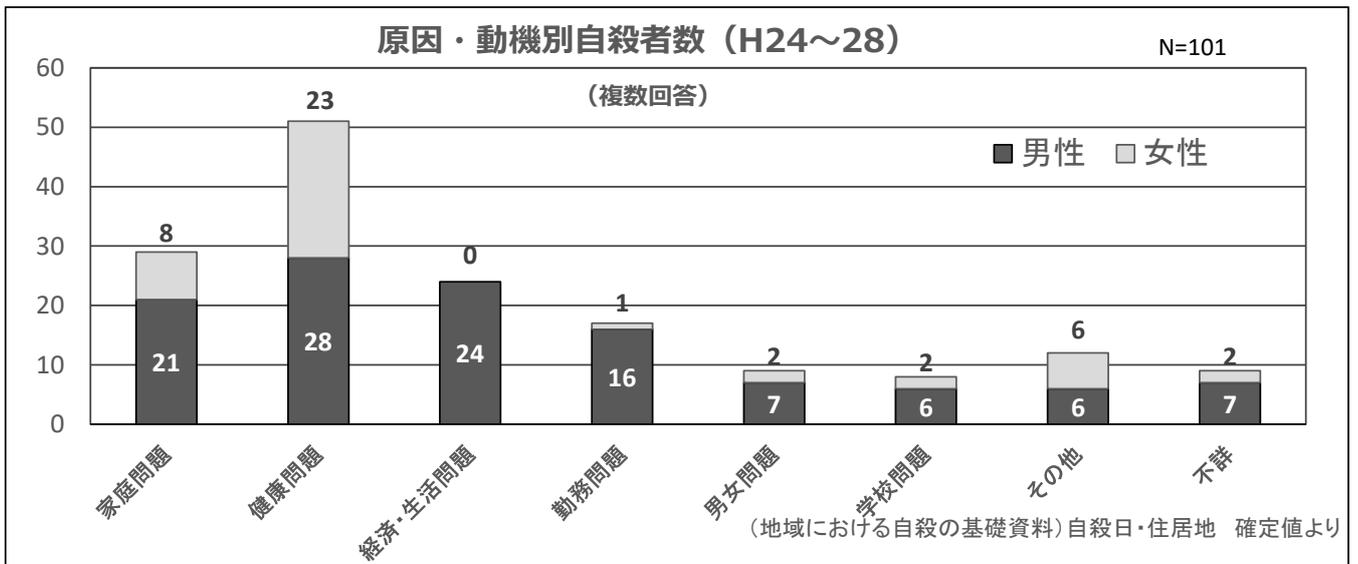
(死亡小票より)



- ・職業別にみると就労者が約4割です。
- ・プロフィールでは、草津市は、全国と比較して、学生・生徒の割合が高いと言われています。



- ・男性の約15%、女性の約半数に未遂歴があり、未遂者支援が重要です。



- ・自殺の原因と思われるものは、一人につき複数回答としており、家庭問題、健康問題、経済・生活問題等多岐にわたり、様々な問題が絡み合っています。
- ・プロフィールによると若い世代については、ひきこもりや将来を悲観してのうつ状態が背景にあげられ、女性では高齢で身体疾患の苦しさからうつ状態になるという背景が主な危険経路として示されています。